

新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言発令中
不要不急の外出や移動は控えてください
マスク着用、手洗いなどの感染対策を

8面に事業継続支援金(令和3年1月~2月)と新型コロナワクチン接種コールセンターを掲載

3.11東日本大震災から10年 ~あの日の記録48時間~

平成23年3月11日、今まで経験したことのない地震が発生。
災害対策本部の立ち上げ、被害状況の把握、防災行政無線の放送、避難所開設、帰宅困難者の対応など地震発生から48時間の記録。



ライフライン、帰宅困難への備え

- ☑ 家族などと安否確認の方法、集合場所、帰宅経路の状況を確認。
- ☑ スニーカー、懐中電灯、モバイルバッテリー、手袋、飲料水や食料などを用意。
- ☑ 携帯ラジオや地図を持ち歩く。

※多くの人が一斉に帰宅を始めると、火災や落下物などにより負傷する恐れや救助・救急活動の妨げになります。身の安全を確保し、職場や集客施設などの安全な場所にとどまることも大切です。

地震発生時の情報収集 「さまざまなデマに惑わされない」
市、消防署、警察署などの広報やテレビ、ラジオなどで**正確な情報**を確認。

地震の発生を防ぐことはできません 東日本大震災からの教訓 大切な「自助」と「共助」

自助 日頃からの備え 備蓄の目安は3日以上
「自助」とは、自分の命は自分で守るということです。災害発生時は、まずは自分の身は自分で守ることが一番重要です。地震発生から市や県などの本格的な復旧が始まる3日目までは自分でしのぐことが大切です。

共助 地域のコミュニケーション
「共助」とは、住民同士や自主防災組織を結成するなどして、地域で協力して災害からの対応を行うことです。自分たちの地域は自分たちで守るということです。